

どなたでも受講
可能です

測量・地図の基礎講座

ハザードマップの基礎

洪水ハザードマップの基礎

主催：公益社団法人日本測量協会

我が国は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などによる災害が発生しやすい国土となっています。

ハザードマップは、平時に住民が見て、災害リスクを認識し、どのように避難をするのかについて考え、いざという時に的確な避難行動をとることができるようにするためのものです。このため、適切な避難情報のもと、安全な避難場所へ避難してもらうための必要な情報を記載する必要があります。

今回の内容は、**ハザードマップの基礎**、**洪水ハザードマップの基礎**です。わかり易い洪水ハザードマップの作成や地名から見える水害危険区域など、演習を交えながら解説します。

ぜひ、この機会に受講してみたいかがでしょう。**それぞれのコース単独でも受講可能です。**

1. 日程及び会場

■日程

令和 2年 9月 8日（火）：「ハザードマップの基礎」コース
令和 2年 9月 9日（水）：「洪水ハザードマップの基礎」コース
各コース1日間(9:30～16:30)

■会場

公益社団法人日本測量協会
〒113-0001
東京都文京区白山 1-33-18 白山 NTビル 5F 研修室
TEL:03-5684-3355
FAX:03-5684-3366

2. 講師

公益社団法人日本測量協会認定講師

3. 受講定員

各コース 東京会場16名

4. 教材

講師作成テキスト(当日配布)

5. 受講料(各コース共通、税込価格)

- 会員： 10, 000円
- 一般： 17, 000円(同時入会可能)

6. CPDポイント

各コース:6ポイント

7. 講習内容

「ハザードマップの基礎」コース	
●ハザードとは	●ハザードマップの作り方と表現の実際
●ハザード王国日本	・水害ハザードマップ
●ハザードマップとは	・土砂災害ハザードマップ
●ハザードマップで対象とする災害	・地震災害ハザードマップ
●ハザードマップの要件	●ハザードマップの利用
・図示内容	
・表現方法	
「洪水ハザードマップの基礎」コース	
●基礎的な土地条件と自然災害	●洪水ハザードマップの実習
・自然災害の発生と人間	洪水ハザードマップの作り方
・自然災害の種類、特に水害	洪水ハザードマップの使い方
・土地の基礎的な条件と水害の発生	
●土地の性質から水害危険区域を見抜く	●防災意識、行動、住み方
・地図による基礎情報の読み取り方	
・地図による水害危険地域の読み取り方	

8. 申込・その他

1) 申込み方法 : [インターネットからのお申込みとなります。\(ご希望のコースをクリックして下さい\)](#)

[「ハザードマップの基礎」コースの申込はこちら](#)

[「洪水ハザードマップの基礎」コースの申込はこちら](#)

※3密対策として、換気の徹底や、衛生対策、座席間隔を広くするなど、ソーシャルディスタンスに配慮して開催致します。

また、感染予防策として、検温、マスク着用等にご協力頂きますようお願い致します

2) 申込み期限 :

ハザードマップの基礎 洪水ハザードマップの基礎 **令和 2年 8月21日(金)**

【各コースとも定員に達した場合は締め切りとなります。】

※受講費用のご入金につきまして

今後、新型コロナウイルス感染拡大等を勘案し、講習会の開催延期及び中止等の判断をせざるを得ない場合がございます。このため受講費用のお振込みは、ご案内まで、お待ち頂きますようお願いいたします。

開催決定後、お申しいただいた皆様へ改めてメール等でご案内させていただきます。

3)問合せ先

公益社団法人 日本測量協会 測量技術教育部

〒113-0001 東京都文京区白山 1-33-18

Tel: 03-5684-3355 Fax: 03-5684-3366 E-Mail: kyouiku@jsurvey.jp

4)その他

※ 締切日において申込人数が 10 名未満の場合は中止する場合があります。

※ この講習会は、測量CPDポイントの対象学習プログラムです。